

## スマホを持たずに旅に出る

行ったことがない国にひとりで行く。しかも、その国の言葉がまったくできない。そんな旅に出るときは、出発前から不安と期待で胸がドキドキします。しかも、出発直前にスマートフォンが壊れたら……。ドキドキも倍増します。

これはわたしが数年前、ひとりである国に行ったときの話です。わたしは大きめのバックパックに数日分の服や洗面用具、カメラをつめて、空港へ向かいました。準備万端！と、思ったのですが……。 「これから行ってきます」と、家族にメッセージを送ろうとしたとき、突然、スマホの画面が真っ暗になりました。そのあと、何度も電源を入れようとしたのですが、だめでした。一瞬、「日本の空港でスマホを借りていこうかな」と思いました。でも、なぜか、それとほぼ同時に「スマホを持たないで旅を試みよう」という考えが浮かんだのです。科学技術の発展に反発したい、とか、次々に届くメッセージから自由になりたい、とか、まじめな理由があったわけではありません。ただなんとなく、本当になんとか、スマホを持たないで行ってみようと思っただけです。

日本を出発して、途中、ある国で乗り継いでから、目的地に着きました。出発してから、だいたい17時間くらいかかりました。飛行機の中や空港では、いろいろなところに英語が書いてありますから、スマホがなくても大丈夫でした。で

も、空港の外に一步出た瞬間から、右も左もわからない状態になりました。わたしは思いました。「これは……楽しい！」

それから2週間、わたしは何人の人に助けてもらったでしょう。レストランで困っていると、他のお客さんやお店の人が身振り手振りでおすすめの料理を教えてくださいました。バスの乗り方がわからなかったときは、他の旅行者に教えてもらいました。車を借りてドライブに行ったときは、田舎の町で迷子になりましたが、地元の人が助けられました。その人は日本語も英語もわかりませんし、わたしはその国の言葉が全くわかりません。でも、その人は、友だちの友だちの友だちにまで電話をして、わたしの行きたい場所への行き方を調べてくれました。おかげで、無事に、その場所へ行くことができました。今でもどうやってコミュニケーションをしたのか、あのとき、私たちが交わした会話はどんな言葉だったのか、よくわかりません。よくわからないのに、ちゃんと心が通じ合いました。

もし、いつもどおりスマホを持って行っていたら、わたしの旅はもっとつまらなかったと思います。困ったとき、周りの人に聞かずに、スマホに聞いてしまったことでしょう。スマホ無しの旅は、一生忘れられないたくさんのお会いをくれました。

(1082 字)

(2021.4 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.